

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年7月27日 水曜日

ページ・アイテムを無効化すると発生するエラーの対応

動的アクションの無効化をページ・アイテムに対して実行すると、ページの送信時にエラーが発生することがあります。

以下のページでは、チェックボックス**30歳以上ですか？**にチェックを入れたタイミングで、動的アクションによりチェックボックス**人間ドック**をチェックし、その後**無効化**しています。

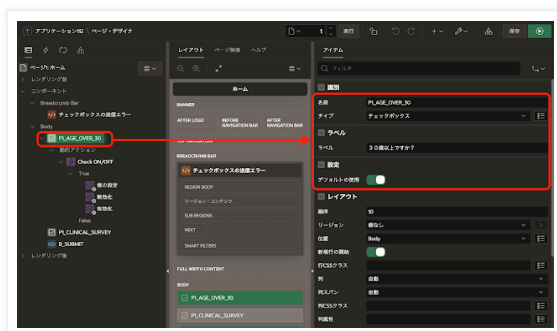
この状態でページを送信すると「人間ドックは値YおよびNに一致する必要があります。」というエラーが発生します。



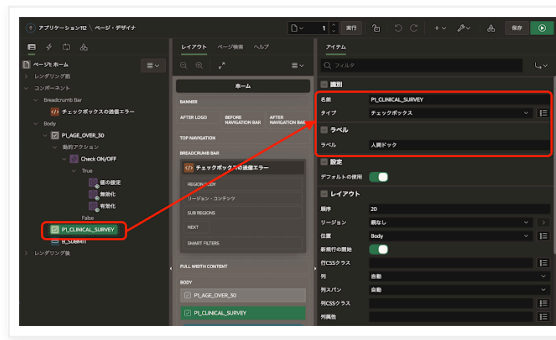
エラーになる理由と対応方法を紹介します。

上記のページの実装を見てみます。

30歳以上ですか？のチェックボックスは**P1_AGE_OVER_30**として作成しています。識別の**タイプ**は**チェックボックス**を選択しています。設定の**デフォルトの使用**が**ON**なので、チェックが入っているときは、ページ・アイテムの値は**Y**、そうでないときは**N**になります。



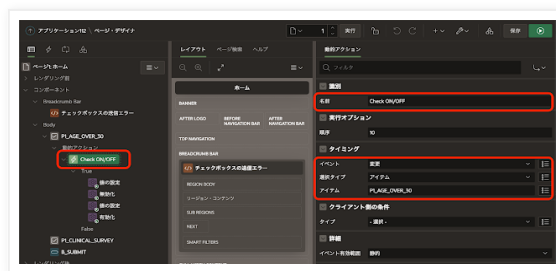
人間ドックのチェックボックスは**P1_CLINICAL_SURVEY**です。



ページ・アイテムP1_AGE_OVER_30にチェックを入れた時（値がYに変わった時）、ページ・アイテムP1_CLINICAL_SURVEYの値もYにします。

ページ・アイテムP1_AGE_OVER_30に動的アクションを作成します。

識別の名前をCheck ON/OFFとし、タイミングはイベントが変更、選択タイプはアイテム、アイテムはP1_AGE_OVER_30とします。

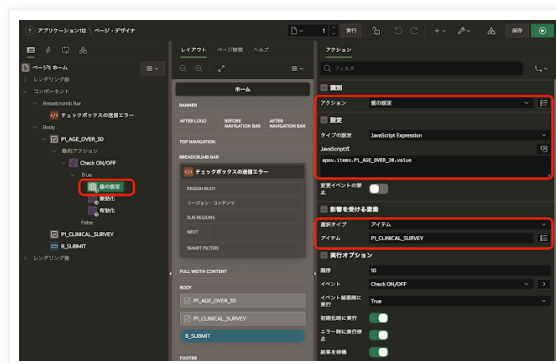


TRUEアクションとして値の設定を選択します。設定のタイプの設定としてJavaScript Expressionを選択し、JavaScript式に以下を記述します。

`apex.items.P1_AGE_OVER_30.value`

影響を受ける要素の選択タイプをアイテム、アイテムとしてP1_CLINICAL_SURVEYを指定します。

これで、P1_AGE_OVER_30がチェックされたら、P1_CLINICAL_SURVEYにもチェックが入るようになります。P1_AGE_OVER_30のチェックが外れたら、P1_CLINICAL_SURVEYもチェックが外れます。

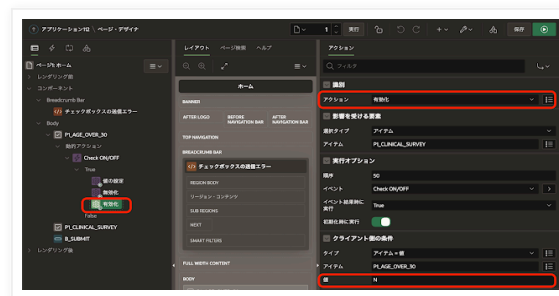


TRUEアクションを作成し、アクションとして無効化を選択します。影響を受ける要素の選択タイプはアイテム、アイテムはP1_CLINICAL_SURVEYです。

クライアント側の条件としてタイプがアイテム = 値、アイテムにP1_AGE_OVER_30を選択し、値をYとします。これでページ・アイテムP1_AGE_OVER_30にチェックが入ったとき（値がYになったとき）、P1_CLINICAL_SURVEYもYになりページ・アイテムとして無効化されます。

ページ・アイテムP1_AGE_OVER_30の値がNになったときに、ページ・アイテムP1_CLINICAL_SURVEYを有効化するTRUEアクションも作成します。

識別のアクションは有効化、クライアント側の条件の値はNになります。



以上で、チェックボックス自体は想定通りの動作になります。



30歳以上ですか？のチェックボックスにチェックをいれたときは、人間ドックのチェックボックスはYになります。

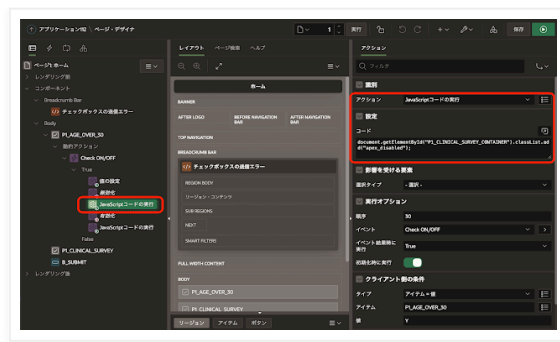
この状態で送信ボタンをクリックすると、ページ・アイテムP1_CLINICAL_SURVEYは無効化されているため、サーバーに送信されません。ページ・アイテムP1_CLINICAL_SURVEYの値はYでもNでもないので、エラーが発生します。

クラスapex_disabledを使用すると、画面上の操作を禁止しても、ページの送信の対象とすることができます。

TRUEアクションの無効化を以下に置き換えます。

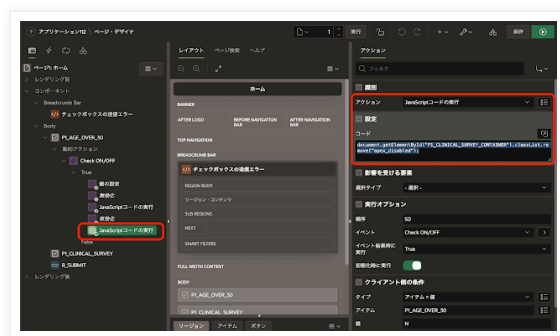
識別のアクションをJavaScriptコードの実行とし、設定のコードに以下を記述します。クラスapex_disabledはページ・アイテムP1_CLINICAL_SURVEY（要素としてはinput）ではなく、その親となる要素P1_CLINICAL_SURVEY_CONTAINERに追加しています。

```
document.getElementById("P1_CLINICAL_SURVEY_CONTAINER").classList.add("apex_disabled");
```



有効化も同様に、以下のコードに置き換えます。

```
document.getElementById("P1_CLINICAL_SURVEY_CONTAINER").classList.remove("apex_disabled");
```



以上で対応は完了です。

簡単なアプリケーションですが、以下のエクスポートを置きました。
<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/checkbox-da-error.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 10:43

共有



ホーム



ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.